

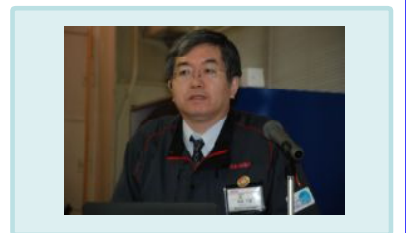


| | |
|--|---|
| 東芝エレベータ(株) 姫路事業所 東芝エレベータプロダクツ(株) サイトレポート情報 | |
| 所在地 | 兵庫県姫路市網干区浜田1000番地 |
| 敷地面積 | 43,857m ² 、建家面積：15,526m ² 、緑化率26.4% |
| 設立 | 1991年4月、従業員：185人（2011年3月現在） |
| 主要製品 | エスカレーター |
| ISO14001認証取得 | 1998年8月、最新更新年月：2010年8月 (ISO認証番号：EC98J1042) |



ごあいさつ

東日本大震災によって被害に遭われた皆様に、心よりお見舞い申し上げます。今、国中が未曾有の大災害による大きな試練を迎えております。西日本を拠点とする当社におきましても企業の社会的責任を果たすため国や電力会社による電力削減要請には全面的に協力すると共に被災地復興を最優先とした企業活動を進めていきます。また、エスカレーターの製品に関しては新JIS規格対応の開発をトリガーとし製品の環境調和のみならず工場の製造プロセスで環境に配慮したものづくりを目指してまいります。



環境保全責任者 神長正美

2010年度の環境の主な取組み

- ☆製品環境効率の向上
 - * TE形エスカレーターのマイナーチェンジ
 - ・省スペース化
 - ・安全仕様の充実
 - * 環境調和型製品の提供
 - ・エスカレーター照明部品のLED化拡大
- ☆地球温暖化の防止
 - ・CO2排出量の削減のため省エネ型エアコン、会議室LED照明を導入
 - ・構内夜間照明のライトダウンキャンペーン実施
 - ・モーダルシフトの推進
 - ・CO2総排出量の削減2009年度比8.8%削減
- ☆資源の有効活用
 - * 廃棄物総排出量の削減
 - ・2009年度比7%の増加・納入木枠梱包の通り化で対応
 - * 3Rゼロエミッションの継続 最終処分率0.1%
 - ☆法令遵守・リスク管理・管理体制の充実
 - ・ISO14001更新審査、東芝総合環境監査の受査
 - ☆環境負荷の低減
 - ・塗装工程の改善を進め有機溶剤を削減
 - ・規制化学物質生産高原単位の削減2009年度比20%削減
 - ☆産業廃棄物業者への現地確認
 - ・最終処分場までを含めた廃棄物処理委託先の現地確認を実施(姫路市、神戸市、赤穂市、加古川市)

製品・環境技術開発、環境配慮ポイントの紹介

◎環境調和型製品の創出提案

1. 環境調和型製品の拡充
 - ・TE型エスカレーターに低速待機運転を標準装備
2. 環境関連物質の削減
 - ・ESNAVI表示基板とインバータユニットのRoHS対応
3. 長寿命、省エネ製品の販売促進
 - ・LED欄干照明の販売促進



環境コミュニケーションの紹介

- ◎ 全従業員によるペットボトルキャップ、プルタブ、使用済み切手、プリペイドカード、ベルマーク収集（環境月間、CSR月間）
- ◎ 地元秋祭りへの積極的参加
- ◎ どんぐり拾い、どんぐりの木植樹会に参加
- ◎ 行政主催の環境行事に参加



環境方針

東芝エレベータ(株) 姫路事業所

東芝エレベータプロダクツ(株)

環境基本方針

東芝エレベータ株式会社姫路事業所及び東芝エレベータプロダクツ株式会社は、東芝グループ環境基本方針である「かけがえのない地球環境」を健全な状態で次世代に引き継いでいくことは、現存する人間の基本的責務」との認識に立って、「緑の地球を自分たちで守ろう」をスローガンとして、東芝グループ環境ビジョンのもと、豊かな価値の創造と地球との共生を図ります。低炭素社会、循環型社会、自然共生社会を目指した環境活動により、持続可能な社会をつくることを全社員が一丸となり誠意を持って実行します。また、瀬戸内海に隣接した立地条件で東芝グループ国内唯一のエスカレーター製造工場としての事業を展開しており、この豊かな資源、環境を守ることを使命とし、兵庫県及び姫路市の行政方針に沿った環境活動を実施すると共に、当事業所は工業専用地域であるが法令より厳しい環境自主基準を設け、製品及び生産活動のあらゆるプロセスにおいて環境調和を意識し、全社員参加による積極的な環境保全活動への取組みを推進します。

◆環境経営の推進

1. 環境への取組みを、経営の最重要課題の一つとして位置づけ、「東芝エレベータグループ環境アクションプラン」の策定により、社会、経済と調和した環境活動を推進します。
2. 当事業所が行う事業活動・製品・サービスに関わる環境側面に関する法令、協定及び当社が同意した業界等の指針等を遵守し、かつ当社の自主基準を制定し、コンプライアンスを第一とします。
3. エスカレーターの開発・設計・製造及びそれに関わる事業の活動が環境に与える影響を常に的確に捉え、生物多様性を含む環境への影響を評価し、技術的・経済的両面から環境目的・目標を定め、更に定期的に見直しを行い、環境マネジメントシステムの継続的な改善及び地球温暖化の防止、環境負荷の低減、汚染の防止を推進します。
4. 毎月一度の定期的な委員会活動、監査の受審及び活動のレビュー等により環境経営の継続的な改善を図ります。
5. 環境に関する教育及び広報活動を実施し、社員と家族及び地域住民へ環境活動への理解と意識向上を図ります。
6. 国内外の関係会社、ビジネスパートナー会社に対して指導、支援を行い、一体となった環境活動を推進します。

◆環境調和型製品・サービスの提供と事業活動での環境負荷低減

1. 製品のライフサイクル（開発・設計～回収・廃棄）の全ての段階で環境配慮を行い、環境負荷の低減に寄与する環境調和型製品・サービスを提供します。（環境効率の向上）
 - ① 新製品開発、リニューアル事業による環境効率向上
 - ② 特定化学物質（東芝グリーン調達ガイド指定15物質）の全廃
 - ③ エコプロダクツ（省エネ・省資源の製品・サービス）によるCO2削減
2. 地球資源の有限性を認識し、地球温暖化の防止、資源の有効活用、化学物質の管理など、全ての事業プロセスにおいて循環型企業へ転換するために、積極的な環境施策を展開します。（事業プロセスの革新）
 - ① 全ての生産活動における電力及び製品物流に伴うCO2排出量の削減
 - ② 全ての生産活動における廃棄物総発生量の抑制及び廃棄物ゼロエミッションの継続
特に鉄屑、梱包木屑及びコピー印刷の削減を図る。
 - ③ 大気への規制化学物質総排出量の削減
 - ④ 水受入量（生活用水）の削減

◆地球内企業として

1. 建物での縦の交通機関として重要な役割を担う昇降機を通じて、環境にやさしい事業活動、製品、サービスの開発と提供、及び地域・社会との協調連帯により、環境活動を通じて社会的責任を果たすとともに、社会に貢献します。
2. 相互理解の促進のために、利害関係者に対して正確な環境情報の開示と積極的なコミュニケーションを行います。
3. 生物多様性に配慮した事業活動などにより、生物多様性の保全及び生物多様性の構成要素の持続可能な利用を行います。

この環境基本方針は、関係会社及びビジネスパートナー会社の社員を
含む全従業員に周知するとともに一般の人にも公表します

2011年6月28日

東芝エレベータ株式会社

東芝エレベータプロダクツ株式会社

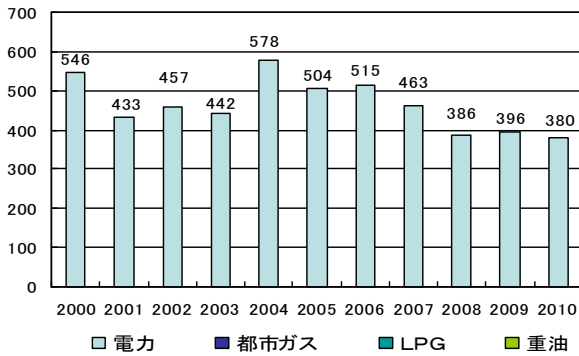
姫路事業所長

代表取締役社長

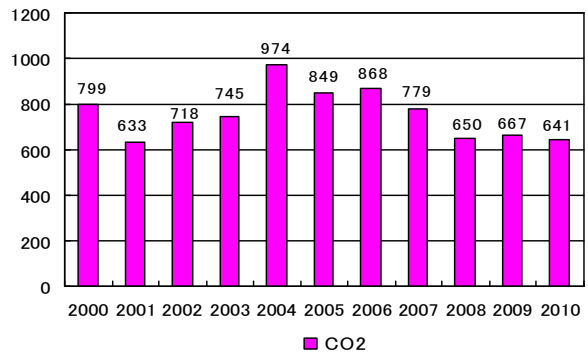
神長 正美

環境負荷データ

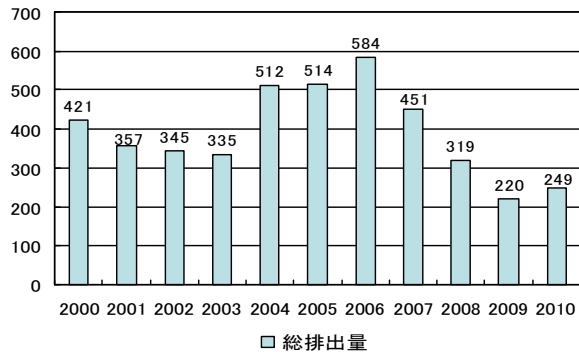
エネルギー使用量(単位:KL)



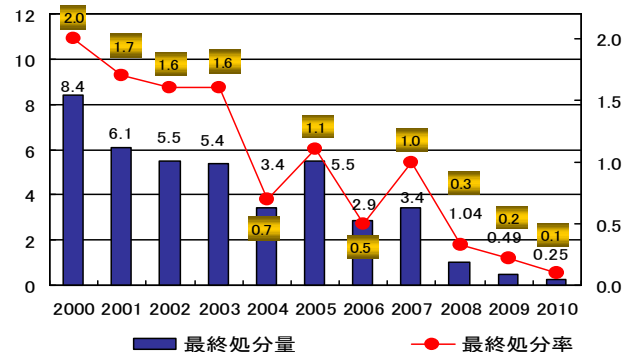
CO₂排出量(単位:トン-CO₂)



廃棄物総発生量(単位:トン)

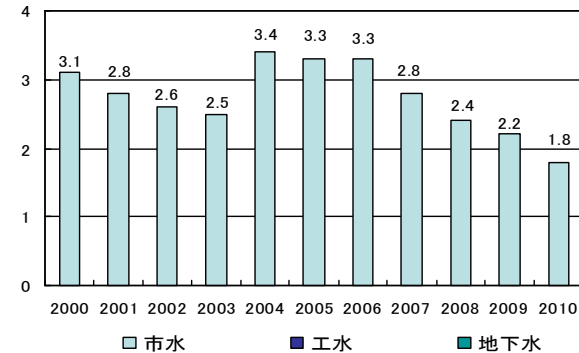


廃棄物最終処分量と最終処分率(単位:トン、%)

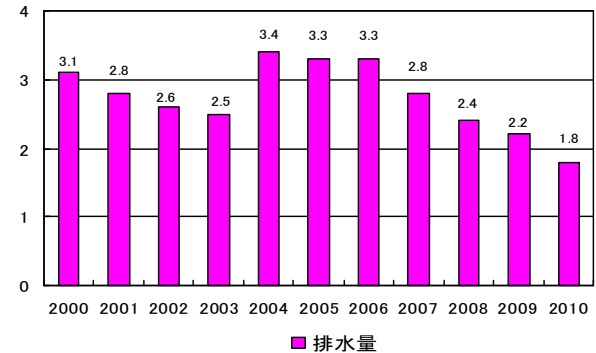


主な廃物名: 金属屑、ガラス、プラスチック、廃油、廃塗料カス、木屑等

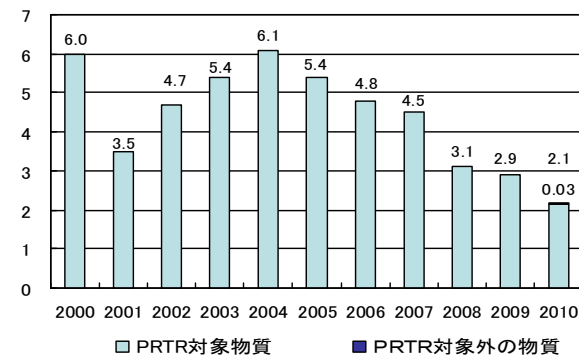
水の使用量(単位:千m³)



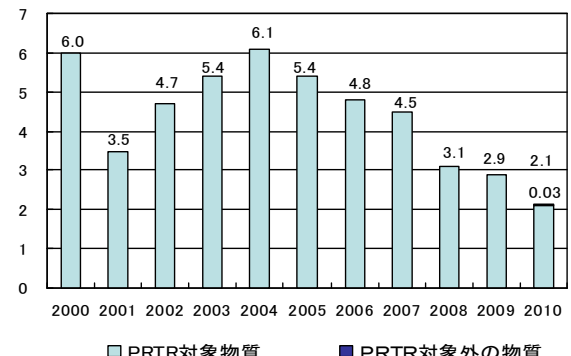
排水量(単位:千m³)



化学物質削減対象物質の取扱量(トン)



化学物質削減対象物質の排出量(トン)



主な化学物質: キシレン・トルエン・エチルベンゼン・1-3-5トリメチルベンゼン・1-2-4トリメチルベンゼン

遵法管理状況

＜大気測定結果＞

| | 法規制値 | 自主管理値 | 実測値 | 測定頻度 |
|--------------|------|-------|-----|------|
| NOx(ppm) | 対象外 | 対象外 | 対象外 | 対象外 |
| SOx(Nm3/h) | 対象外 | 対象外 | 対象外 | 対象外 |
| ばいじん(mg/Nm3) | 対象外 | 対象外 | 対象外 | 対象外 |

＜排水測定結果＞(主な測定結果)(対象処理施設なし・生活雑排水測定、揖保川浄センター～揖保川へ放流)

| | 規制値 | 自主管理値 | 実測値 | 測定頻度 |
|-------------|-----|---------|-----|------|
| 水素イオン濃度(pH) | 対象外 | 5.1～8.9 | 8.7 | 年1回 |
| BOD(mg/ℓ) | 対象外 | 480 | 160 | 年1回 |
| SS(mg/ℓ) | 対象外 | 480 | 120 | 年1回 |
| 窒素(mg/ℓ) | 対象外 | 192 | 120 | 年1回 |
| フッ素(mg/ℓ) | 対象外 | 12 | 0.2 | 年1回 |
| | | | | |

騒音・振動測定結果(特定施設(騒音・振動 機械プレス、コンプレッサー))

| | 測定場所:時間 | 規制値 | 自主管理値 | 実測値 | 測定頻度 |
|--------|---------|-----|-------|------|------|
| 騒音(dB) | 敷地境界:昼 | 対象外 | 70 | 62.2 | 年1回 |
| | 敷地境界:夜 | 対象外 | 70 | 52.8 | 年1回 |
| 振動(dB) | 敷地境界:昼 | 対象外 | 65 | 42 | 年1回 |
| | 敷地境界:夜 | 対象外 | 60 | 33 | 年1回 |

＜その他測定結果＞(悪臭防止法:敷地境界線キシレン濃度)

| | 規制値 | 自主管理値 | 実測値 | 測定頻度 |
|-------------|-----|-------|-----------|------|
| キシレン濃度(ppm) | 対象外 | 4ppm | 0.0086ppm | 年1回 |
| | | | | |
| | | | | |

＜環境事故・指導指摘・苦情の有無＞

| | 状況 |
|--------------------|----|
| 環境事故発生の有無 | なし |
| 工場周辺や地域での環境問題発生の有無 | なし |
| 行政からの指導・指摘の有無 | なし |
| 近隣住民からの苦情の有無 | なし |